

公益信託高知市まちづくりファンドニュース

まちファン

19号

2012年10月20日

一歩踏み出して“まちづくり”の輪へ



数年後には、お年寄りが今以上に増えて
「超高齢化社会」がやってきます。
みんなでお年寄りを見守っていかなければなりません。

南海大地震・津波がやって来たら
みんなで助け合い
支え合っていかなければなりません。

自分たちのまちを住みよいまちにしたい。
お年寄りから子どもまで、一人ひとりが大切にされ
みんなが安心して暮らせるまちにしたい。
その思いはみな同じです。

自分たちのまちを良くするために、何ができるか。
一人ひとりが、一歩踏み出して
できることから“まちづくり”に加われば
“まちづくり”的輪が広がります。

目次

2012年度 公益信託 高知市まちづくりファンド 公開審査会	
プレゼンテーション	
「まちづくりはじめの一歩」コース	2
「まちづくり一歩前へ」コース	2
「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース	4
公開審査会を終えて	4
2011年度 公益信託 高知市まちづくりファンド 最終発表会・中間発表会	
プレゼンテーション	
「まちづくり一歩前へ」コース	5
「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース	6
最終発表会・中間発表会を終えて	7
運営委員の紹介	7
公益信託「高知市まちづくりファンド」とは／今後の予定	8

公益信託 高知市まちづくりファンド 2012年度 公開審査会

2012年7月29日(日)開催の公益信託「高知市まちづくりファンド2012年度 公開審査会」には、応募団体、一般合わせて約50名が参加しました。

A 「まちづくりはじめの一歩」コース

●応募なし

B 「まちづくり一歩前へ」コース

1 プレゼンテーション



各応募団体が事業内容を模造紙1枚に記載。3分以内でプレゼンテーションを行った後、3分以内で質疑応答

2 一次判断



各運営委員が各応募事業について(a)、(b)、(c)の3段階の判断をする
※(a)、(b)、(c)については下表参照

3 質疑



一次判断で(b)、(c)が多い事業への質疑応答

4 最終判断



各運営委員が、助成対象として推薦する事業を選ぶ。結果、過半数(5票以上)の推薦を得た事業が助成先に決定

■「まちづくり一歩前へ」コース結果表(助成先4団体)

グループ名	一次判断			最終判断		
	(a) 活動企画内容を支持し、今回の助成が必要だと考える	(b) 活動内容についても少し話を聞き、今回の助成が必要か判断したい	(c) 社会的に意義がある活動だが、助成趣旨にはなじみにくいと考える	今回の助成対象として推薦する	申請額(万円)	助成額(万円)
1 こうちネットホップ	■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	30	30
2 菜園場商店街活性化委員会	■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■	30	-
3 関長寿会・体操会	■ ■	■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	29.3	-
4 高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2012実行委員会	■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■ ■	■	■ ■ ■ ■ ■ ■	30	30
5 Sunday Market Supporters	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	28.4	28.4
6 特定非営利活動法人高知障害者スポーツ地域振興会	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	30	30
					助成額合計	118.4

B 「まちづくり一歩前へ」コース

■プレゼンテーション■



みんなで考えるホームレス支援と貧困問題

こうちネットホップ (ホームレス問題と貧困問題を考えるこうちの会)



ホームレスの方々に社会復帰してもらいたい。まちづくりの輪に戻ってもらいたい。そんな思いで、月1回以上の夜回り活動を行っている。信頼関係を築く中で、必要があれば、生活保護や就労支援に向けての仲介役を担っているが、活動内容を分かつてもらうためにリーフレットを作成したい。また、この活動を広げていくための講習会を開催し、支援の輪を広げて、意識の共有化を図りたいと思っている。



頑張ろう菜園場(あの時の賑わいを取り戻したい)

菜園場商店街活性化委員会



横堀公園や史跡周辺等の清掃整備、商店街にゆかりの深い「武市半平太まつり」や生誕祭の開催、商店街に活気を取り戻すための地域通貨券「エンバサ」の発券、歴史講演会、歴史巡りなどの活動を充実させていく。周辺住民、小学生や幼稚園児の記憶に残るイベントにしたい。また、商店街に活気を取り戻していくため、案内看板の設置、マップの作成に取り組む。案内看板は、設置場所を数カ所、選定する予定。

GROUP
13 食を通じてまちづくり
関長寿会・体操会



「安心安全のまちづくり」の担い手が高齢化している。専門家に介入してもらい、住民の集まる場として、健康料理教室を開催したい。そこで、食事や健康について考えたり、日常生活に即した運動を行ったりして、地域コミュニティの強化を図る。生活習慣病予防、介護予防につながるだけでなく、人が健康になり、意欲が向上することで、元気なまちづくりを実現できる。積極的に防災活動も行い、地域のリーダーも育成していきたい。

GROUP
14 音楽の力でまちを元気に！
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2012実行委員会



高知市中央公園を中心に、市内中心部へ複数、ステージを用意し、自由に音楽を楽しんでもらう「高知街ラ・ラ・ラ音楽祭」を開催して、今回で11回目。9月の本番に向か、1年間、実行委員会形式で活動しており、中心部を良くするためにどうしたらいいか、その催しがどれほどの人々に伝わる催しになるのか、ということを検討し、実行委員自体が新しいまちづくりの人材育成の担い手になるよう取り組んでいく。

GROUP
15 若者による土佐の日曜市の活性化に向けた取り組み
Sunday Market Supporters



日曜市を「生活市」として守りたいという思いで、毎週、朝7時半から夕方4時ぐらいまで出店者の手伝いや日曜市の情報を発信。日曜市や出店者の魅力を伝えられるようなパンフレット作成と、日曜市のこととを含めたまちづくりという広い視野でシンポジウムを開催し、外向けにも発信していく。高知大学の学祭出店では、日曜市で売られている商品を販売する中で、日曜市の魅力を学生たちに伝えていきたい。

GROUP
16 障害者スポーツを通じて障害者理解を深め、共に生きる地域づくりをめざそう
特定非営利活動法人 高知障害者スポーツ地域振興会



「車いすラグビー」というスポーツを通じて、小・中学校や地域など、希望される場所へ出向き、障害者への理解を深める体験交流学習の機会を提供する。また、春野の障害者スポーツセンターでは、いろいろな種目の体験をしてもらう体験教室を開催したい。親子、友人、学生なども対象とし、「一緒に楽しく」をキーワードに活動範囲を広げ、マスコミによる広報にも力を入れて、外に向かった活動にしていく。



C

「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース

① プレゼンテーション



各応募団体が事業内容を模造紙1枚に記載し、5分以内でプレゼンテーションを行った後、5分以内で質疑応答。

② 質 疑



質疑応答

③ 第1次審査通過事業の決定



各運営委員が、助成対象として推薦するかどうかを判断する。運営委員より過半数(5票以上)の推薦を得て、第1次審査通過となり、計画具体化費用として上限10万円を交付。

■「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース結果表

グループ名	第1次審査通過事業の決定		
	第2次審査の対象として推薦する	申請額(万円)	10万円以内の計画具体化費用を受ける権利を得る
1 土佐山アカデミー	●●●●●●●●●●	216	○

※今後は第2次審査書類提出（12月14日）、現地調査・第2次公開審査会（1月下旬）を経て、助成決定の可否が決まります。

C 「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース

■プレゼンテーション■



GROUP 1 地域内外の交流から生まれる 中山間地域の新たな施設の活用モデル

土佐山アカデミー

中山間地域は活用したい資源が豊富。必要なのは、埋もれてしまっている価値をもう一度、見直し、つないでいく「人」の力。自然豊かな土佐山で、企業の跡地や、20年以上前に閉店してしまった喫茶店を活用できるよう整備し、ライブラリーやカフェ、フリーランスの人などが共同で働くことのできるコワーキングスペースをつくりたい。また、地域で自分たちの仕事をつくるといったようなスクール事業を開発したり、土佐山住民と高知市民の交流による防災コミュニティの拠点にしたりするなど、地域に根差しながら、地域外に開かれたコミュニティースペースとして活用する。地域の交流人口を増やすことで、地域の活性化につなげていきたい。

Q 地域との話し合いは?

A 所有者には承諾を得ている。今後、集荷場で野菜の荷造りをしている地元の皆さん、高川集落の皆さんらと定期的な集会を開き、活用のあり方について話を詰めていきたい。建物の内装や壁、家具については、地元の大工さんだけでなく、高知市内のアーティストや学生にも協力してもらう予定。

Q 整備費用216万円の内訳は?

A 対象外のものもあるかもしれないが、概算として、内装工事等80万円、専門家を交えたパツ等の制作デザイン20万円、雑費16万円、看板等の外装20万円、備品、家具等50万円、インターネットのLAN整備30万円。

Q 整備後、施設の所有者は?

A 所有者はそのまま。カフェは賃貸で月2万円程度。企業の跡地の隣にある野菜集荷場は現在も動いているため賃料は発生しない。整備計画は、例えば、「この先10年間この施設を利用させてください」といった約束を交わす予定。

今年度は「一步前」コースに、六団体の応募がありました。「うちネットホップ」の基本的な考え方、活動の内容について、多くの人が支持をしましたが、資金の使い方(支出内訳)について、もう少し再考してもらえたらと思っています。

【菜園場商店街活性化委員会】は、「一步前」コース三年目ということで、我々の期待度も高く、地道に活動していくことは認められるのですが、何かもう一つ強いキーワードがあつたら…と残念に思いました。

【高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2012実行委員会】は、九月開催ということで、今回、助成するかしないかで、あと一ヶ月先に何が変わることを考えると、ちょっと難しい点があります。ただ、来年も音楽祭を開催するといふことで、支出内訳もちょっと変わるかもしれませんので、応援しよう」という趣旨で助成が決まったと思います。

【Sunday Market Supporters】も、この時期、この段階で本当にシンポジウムの開催が必要なのか理解しにくいです。が、シンポジウムに限らず、こういった学生の展開的な活動を支援したいと思います。でも、せつかくシンポジウムを開催するわけですから、より幅広い人たちに来てもらうよう努力してください。

【高知障害者スポーツ地域振興会】は、「一步前」コース二年目ということで、さらに輪を広げていこうという活動が見られました。プレゼンで流れていたビデオでも、障害者が見られない子どもたちも一緒に参加しながら学んでいる姿が認めできました。頑張ってください。

【土佐山アカデミー】は、本当に大きな一歩コース、【王佐山アカデミー】が第一次審査を通過しました。このコースは、ソフト面での活動を実施した上でハード整備ですが、これまでの助成先の中には、拠点はあるのだけれど、さらにステップアップし次第には、拠点はあるのだけれど、さらにステップアップしていった事例もありました。今後の運営計画に基づいて、本当に必要なハード整備が何なのかということを、二回だけたら有り難いと

二〇一二年度 公開審査会を終えて

運営委員長 卵月盛夫
(早稲田大学教授)

公益信託 高知市まちづくりファンド 2011年度 最終発表会・中間発表会

2012年7月29日(日)開催の公益信託「高知市まちづくりファンド2011年度 最終発表会・中間発表会」には、応募団体、一般合わせて約70名が参加しました。



1 プレゼンテーション

助成団体が事業の報告を
模造紙1枚にまとめ、発表

- ソフトコース:3分間
- ハードコース:5分間



2 意見交流

運営委員や参加者からの
感想、また質疑に対し、
助成団体が応答

最終発表会

B 「まちづくり一歩前へ」コース

●プレゼンテーション●



GROUP 1 積極的菜園場（あの時の賑わいを取り戻したい）

菜園場商店街活性化委員会

横堀公園や史跡周辺の清掃整備、「武市半平太生誕祭」でのキャンドルナイト、「土佐勤王党結成150年半平太まつり2011」の開催、史跡マップの作成と配布、土佐勤王党コース・半平太コースといった史跡めぐり、地域通過券「エンバサ」の発券などにより、商店街の集客向上、活性化につなげることができた。地域団体等への協力要請や、多くの声がけをしながら、今後の事業を継続、発展させていきたい。

VOICE

- 商店街の活性化に一石を投じて素晴らしい。
- 活動が明確化され広がっていく様子が見える。今後を期待したい。
- 小学校の宿題のテーマに取り上げられたのは良かった。



GROUP 2 障害者スポーツを通じて障害者理解を深め、共に生きる地域づくりをめざそう

特定非営利活動法人高知障害者スポーツ地域振興会

障害者理解を深めてもらうこと、障害者が社会へ出る機会をつくることを目的に、小中学校へ出向いて、子どもたちに障害者スポーツを体験してもらった。体験交流学習は日程が合わず、6回の予定が5回の実施となったが、体験教室は予定どおり4回開催。体験学習を行う上で必要な知識や指導方法等を勉強するためのスキルアップ研修会の開催、啓発用リーフレットの作成を実施し、無関心というバリアをなくすことに役立ったと思う。

VOICE

- 無知、無関心のバリアをなくすこととは、すごいことだと思う。
- 小さい時からの関わりが大事なので、低学年との交流なども考えてみて欲しい。



GROUP 3 「映画館で街なかにぎわいを」

NPOこうちコミュニティシネマ

喫茶店3階の貸しホールにて2日間の映画上映を5回開催。観客は想定の半分で約300人。常設でないことと、PR不足に尽きる。商店街とのタイアップは思うようにいかなかったが、映画会社の理解を得て、自力で映写や設営等をして、事業経費を抑えることができた。見やすい会場の条件づくりでは成果もあったが、急な階段やトイレ数の少なさ、スクリーンに写る影などの不満の声もあった。今後、常設の映画館づくりに向けて役立てていきたい。

VOICE

- 「子どもに対する映画会」をやってみたら?
- 買物がてら、仕事がえりに…というのは良い!!



GROUP 4 大好きな高知を勉強しなおそう！

プロジェクトH

勉強会、パワースポット、自慢トーク交流会、高知大好き乙女ねえやん自慢トークキャラバン、橋村奉臣氏の講演会＆ポートフォリオレビューなどを実施。地域の中学校に光を当てて、地元の良さを再確認できることや、プレゼンを実施できたことが事業効果としてあげられる。今後も目玉イベントに磨きをかけ、面白おかしく活動をしながら、独自のグッズなどのシェア、リサーチ活動についても考えていきたい。

VOICE

- パワフルな活動すごい！
- まちづくりへの形が見えにくい活動だが、地元の子どもたちへの取り組みが未来へ続く取り組みだと感じた。



GROUP 5 チャイルドラインこうち「電話の受け手」ボランティア養成研修会

チャイルドラインこうち

14回にわたり、「電話の受け手ボランティア養成講座」を開催し、新たなボランティアスタッフも増えた。火曜日と第2・第4土曜日に開設。学校やイベント会場ではカード、小中高のPTA総会等ではリーフレット等も配布し、広報に努めている。高知の企業にも応援してもらうため、今後、働きかけていきたいと思っている。また、いじめで悩む子どもたちの声を行政、学校、家庭、地域にも伝えていきたい。

VOICE

- 活動のレベルアップが分かる内容だった。
- 今の子どもたちの現状から、本当に必要な活動となっていると思う。

卒業証書授与



市民団体が継続して行うまちづくり活動を支援する「まちづくり一步前へ」コースは、同一の事業内容に対して3回まで助成を受けることができます。「チャイルドラインこうち」は、2009～2011年度と連続助成を受け、今年、公益信託高知市まちづくりファンドを卒業しました。今後の更なるご活躍を期待しています。



助成金返還の報告 2011年度助成先団体より、助成金の返還がありました。

- B2:菜園場商店街活性化委員会……………4,090円[残金]
- B3:特定非営利活動法人高知障害者スポーツ地域振興会……………7,947円[残金]

中間発表会

C 「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース

●プレゼンテーション●

GROUP 1 『芳原・歴史と子どものふれあいの社』

芳原まちづくり協議会



高知県で、ただ1つの施設として、専門家やメディアから高い関心を受けている。5月初めの連休からスタートし、施設利用者数が7月現在で約1,200人となっている。勾玉・土器・石斧作りなどの体験学習が予想以上に好評。まちづくり協議会のメンバーが土日、当番を組んで開いている。また、団体の希望があれば、いつでも開けるようにしている。さまざまなイベントや祭事を通じて、たくさんの方に利用してもらうことによって地域の活性化を図り、世代間の交流をしていくたい。

VOICE

- 子どもたちに歴史を学んでもらうことは、とてもよいと思う。
- ハード事業を中心に地域活動への広がりが素晴らしい。
- 最初はものめずらしさもあり、来訪者も多かっただろうが、これからが大切。

GROUP 2 活動目的の達成に向けて、自立運営するためのみんなが憩える場所「コミュニティカフェ 絆」づくり

絆・ふれあい高知



コミュニティカフェのトイレが狭く、入り口に段差があり、和式で、高齢者や車椅子の利用者が安心して利用できなかった。入り口をフラットにし、ドアも90cmほど手前に移して、車いすで入ることができる奥行きを確保。手すりをつけるなど、こういった施設の専門業者からの提案も大変役立った。まだ、集客数が増えるところまではいっていないが、これまでの利用者の滞在時間も長くなり、回数も多く利用してもらえるようになった。今後、定期的に発行している広報紙などにも掲載して、PRをしていきたい。

VOICE

- 安心感より滞在時間が長くなったことはよいこと！！がんばれ！！
- コミュニティのいい拠点として成長して欲しい。
- 施設のトイレ問題は大切だと思う。みなさんに喜んでもらえて良かった。



■ 公益信託「高知市まちづくりファンド」とは ■

公益信託「高知市まちづくりファンド」は、「市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」に基づき、まちづくり活動団体への助成を目的に、2003年5月、高知市が四国銀行に3,000万円を出捐(しゆつえん)して創設、また、2012年4月、改たに3,000万円追加出捐しました。助成先は公開審査会で決定し、透明性の確保とともに、市民同士の交流や、まちづくりの学びの場となることを目的としています。多くの人にまちづくりに興味をもってもらい、まちづくりに参加するきっかけとなるような運営をめざしています。

「まちづくりはじめの一歩」コース

まちづくりへの参加の第一歩を踏み出そうとしている市民団体、あるいは活動を始めているが、まだ定着していない市民団体の活動を支援します。

助成金額 上限5万円

審査方法 書類審査で助成先を決定します。
助成が決定した団体は、公開審査会で活動内容の紹介をしていただきます。

「まちづくり一歩前へ」コース

市民団体が継続して行うまちづくり活動を支援しています。

助成金額 活動事業費の $\frac{3}{4}$ 以内で、上限30万円

審査方法 公開審査会において、活動の内容について発表をしていただき、公開審査で助成先を決定します。

お問い合わせ先:高知市市民活動サポートセンター TEL 088-820-1540

「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース

高知を住みよいまち、豊かな地域社会にしていくために行うまちづくり整備事業を支援します。

助成金額 上限300万円(助成率100%)

審査方法 第1次公開審査会において、整備の内容について発表をしていただきます。審査通過団体には、計画を具体化するための費用として10万円を限度に助成。第2次審査書類提出、現地調査後、第2次公開審査会において発表していただき、1件程度、助成先を決定します。

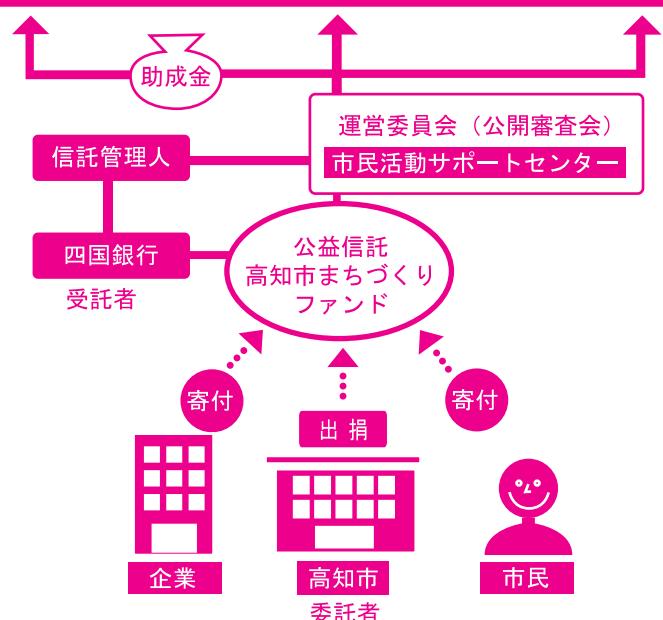
お問い合わせ先:株式会社四国銀行 お客様サポート部 信託担当 TEL 088-871-2226

四国銀行コメント

株式会社四国銀行 お客様サポート部 信託担当

四国銀行では、「高知市民の自主的なまちづくり活動を支援していく」という信託設定の趣旨に沿って助成事業を行います。受託者としてファンドの管理・運営を行うことにより、まちづくり活動の一端を担い、私たちみんなの大切な高知市をより住みやすいまち、豊かな地域社会にしていくためのお手伝いができるよう努めています。

市民によるさまざまなまちづくり活動を支援



私たちもお手伝いします。

高知市市民活動サポートセンターコメント

当サポートセンターでは、まちづくりファンドの申請に関する相談や、公開審査会等の運営のお手伝いをしています。皆さまのまちづくりに対する想いを実現できるよう、支援していきたいと考えています。まちづくりファンドの申請に関すること、また、まちづくり活動や市民活動に関すること等、いつでもお気軽にご相談ください。

まちづくりファンドは
皆様がまちづくり活動を
支援する仕組みです。

まちづくりファンドの創設にあたり、高知市から出捐(しゆつえん)された基金は、毎年取り崩しながら助成していくことになります。少しでも永くまちづくりファンドが市民のまちづくり活動に活用されるように、多くの皆さまのご寄附をお願い致します。

寄付に関するお問い合わせは、
下記にご連絡ください。

株式会社 四国銀行
お客様サポート部 信託担当

〒780-8605 高知市南はりまや町1丁目1-1

電話:088-871-2226(直通)

高知市
市民活動
サポート
センター

市民活動の輪を広げようと、1999年4月に高知市が設置した施設です。運営を「認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議」が担っており、ボランティアや市民活動に関する様々な相談や情報の提供、活動に必要な機器の利用や会議室の貸し出しにも応じています。仲間を広げたり、活動のお知らせをする掲示板や団体が利用できるメールボックスもあります。活動の参考になる講座等も開催していますので、お気軽にご活用ください。

今後のまちづくりファンド(予定)

審査会・発表会は、どなたでも参加することができます。まちづくり活動に関心のある方の交流の場として、お気軽にご参加ください。場所は、高知市たかじょう庁舎6階大会議室を予定しております。

「まちづくり一歩前へ」コース

2012年度事業

中間発表会 2013年1月27日(日)

最終活動報告書の提出期限 7月 5日(金)

最終発表会 7月27日(土)

「まちづくり大きな一歩(ソフトからハードへ)」コース

2011年度事業

最終発表会 2013年 1月27日(日)

2012年度事業

第2次審査書類提出期限 2012年12月14日(金)

現地調査 2013年 1月26日(土)

第2次公開審査会 1月27日(日)

発 行

高知市市民活動サポートセンター

〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階

TEL:088-820-1540 FAX:088-820-1665

E-mail:nopokochi@siminkaigi.com 【URL】http://www.kochi-saposen.net/

R100
古紙配合率100%再生紙
を使用しています